

令和8年度学校教育計画

呉市立白岳中学校長 河本 英希

【白岳中学校区の教育目標（小中一貫教育）】
夢や目標に向かって 粘り強く頑張る児童生徒を育てる
—夢や目標への自立的挑戦—

経営理念

ミッション（学校の使命）：変化が激しい社会の中で、他者と協働しながら課題を解決していく力を備えた生徒を育成し、地域に貢献する。

ビジョン（将来の学校像）：学校と地域が両輪となり、生徒が目標に向かって安心して学ぶことができ、挑戦できるような学校を目指す。

目指す学校像

- ・生徒、保護者、教職員が誇りに思い、地域から愛される学校
- ・潤いと活気に満ちた学校

目指す生徒像

- ・自他を大切にする生徒
- ・課題に挑戦していく生徒
- ・地域・社会に貢献できる生徒

目指す教職員像

- ・常に学び続ける姿勢をもつ教職員
- ・組織の一員として責任と自覚を持ち協働できる教職員
- ・誰からも信頼される教職員

白岳中学校に（を）

- ・通って良かったと思う生徒
- ・通わせて良かったと思う保護者
- ・誇りに思う地域住民
- ・勤務して良かったと思う教職員

学校経営目標 安心・安全・協働と挑戦

《確かな学力》

①授業改善の推進

- 対話を通して学び合い、考えを深め合う、生徒が主体的に学ぶ授業づくり

②個別の指導や支援の工夫

- 「学び方5」への意識と、授業と家庭学習の連動による学習習慣づくり
- ICT、AIドリルの効果的活用
- 特別支援教育の推進
- JCルームの充実と生徒支援の工夫

③授業規律と教室の環境整備

- 授業準備 ○「返事の指導」「聴く姿勢の指導」○整理・整頓・清掃 ○「整然とした掲示物」等

《キャリア教育の充実と

積極的生徒指導》

①生徒が活躍できる集団づくりと自己肯定感の向上

- 生徒の自己肯定感を高める
学校行事・生徒会・学級活動の充実
- 多面的な生徒理解と生徒支援の充実

②キャリア教育の充実

- 「生き方学習」の充実
外部講師を通じた生き方のモデル作り
- 防災学習を通して自分の命を守り、地域貢献を考える。

《安全・安心な教育環境の確保》

①基本的な生活習慣と社会性の育成

- 基本的な生活習慣の定着
「早寝・早起き・朝ごはん」

②体力の向上

- 重点種目の設定と体育等での取組

③防災教育の深化

- 防災の日等を活用した防災意識の向上

④危機管理・不祥事根絶

- 不祥事防止研修と対策の実施
- いじめ防止等に係る取組の徹底
- 規範意識の醸成と毅然とした対応
- 情報の共有と協働（組織的対応）

⑤働き方改革と職場環境の充実

- 生徒と向き合い、共に活動する支援
- 声を掛け合い、相談できる風通しの良い職場づくり
- 時間外勤務の縮減

地域とともにある信頼される学校づくり（コミュニティ・スクール）
小中一貫教育

三つの重点施策

①「知」 授業改善の推進…「優れた授業は最大の生徒指導である。」

学びの変革の更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの考えを深め合う場面の効果的な設定と、「学び合い」を大切にし、対話的な授業づくり ○「学び方5」を意識した学び方の改善と家庭学習との連動 ○相手を明確にして考えを伝えること、しっかりと聴くことの指導
個別の指導や支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTの効果的活用・AIドリルの効果的活用 ○特別支援教育の推進 ○JCルーム等の活用と生徒支援の工夫
授業規律の徹底 教室環境の整備	「チャイム着席」、明確な『返事の「はいっ」を言わせる指導』『聴く姿勢の指導』、「整然とした机・椅子の位置」「ロッカーの整理・整頓」「整然とした掲示物」

②「徳」 キャリア教育の充実と積極的生徒指導…生徒の活躍の場とキャリア教育の充実により、自己有用感、自尊感情を高める。

集団づくりと自己有用感の向上	○学校行事や生徒会・学級活動の充実：生徒一人一人が主体となって活用する場の設定：活動を通して生徒の自己有用感、自尊感情を高める。
生徒理解と支援	相談活動やアンケート、Hyper-QU等を活用した多面的生徒理解により生徒支援の充実を図る。
防災教育の深化	防災の日等に防災学習を実施して防災意識の向上を図り、避難場所や避難方法を認識し、自分の命を守る力をつける。

③「心・体」 安心・安全な教育環境の確保…「学校は学習共同体であり、生活共同体である」

→仲間として「心の健康・体の健康」を保つ。

基本的生活習慣と社会性の育成	○基本的生活習慣の習得の定着：早寝・早起き・朝ごはんを基本とした規則正しい生活を送るように指導する)
体力の向上	○走力・持久力・投力を課題とした重点種目への取組を進める。
危機管理・不祥事防止	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止に向けた研修と対策の実施（不祥事防止委員会） ヒヤリハットの共有（我がこととして捉える意識づくり） ○教室の環境整備（衛生委員会、不祥事防止委員会） ○いじめ防止等に係る取組の徹底（Hyper-QUの実施と面談等） ○法やルールへの遵守と規範意識の醸成（機会を逃さず、時宜を得た指導） 毅然とした対応 ○情報の共有と協働（組織的対応の徹底）
働き方改革と職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒と向き合い、生徒と共に活動する支援 ○声を掛け合い、相談できる風通しの良い職場づくり ○時間外勤務の縮減：見通しをもった業務遂行

基礎に据えたいものは『生徒指導の四つの視点』と『率先垂範』と「報・連・相・(確)」

自己存在感の感受	大切にされ、価値のある存在ということを実感させましょう。
共感的な人間関係の育成	相互に尊重し合い、理解しあい、自分を語れるようにしましょう。
自己決定の場の提供	自分で考え、選択し、決めて実行する場を設定しましょう。
安全・安心な風土の醸成	個性や多様性を認め合い安心して授業や学校生活をつくりましょう。
率先垂範	一人の大人として、生徒に背中を見せましょう（お手本になりましょう）。
報・連・相・(確)	組織を機能させるには「報告・連絡・相談・(確認)」が欠かせません。

学力調査への対応…「結果を残し、教師も生徒も自信を持つ。」

基本的学力への対応	朝読書・特設放課後学習・Qubena を積極的に活用しましょう。 短答式・記述式を含め、読み・書き・表現の基本を繰り返し指導しましょう。
30%未満生徒への対応	朝読書・特設放課後学習の時間を利用して基本的な問題をやらせましょう。 日々の教育相談を通して課題を明確にし、短期目標を設定しましょう。
活用問題への対応	定期試験では、学力調査や入試問題を参考にし、図表の活用、資料の比較や複 合問題等の思考を深める問題・活用問題を出題しましょう。(要 起案)

より信頼される学校…不祥事は絶対に起こさない！→生起すると正常な教育活動ができない！

職員一体化した取組	職員が一体となって生徒に寄り添う指導をしていきましょう。
定期的な研修	当たり前のことを再確認していく場を設けましょう。
情報発信	学校の様子を各通信やホームページで発信しましょう。 ※著作権・個人情報の管理を徹底しましょう。

生徒へ指導し続けてほしいこと（われわれも意識し続けましょう！）

一生懸命	“一生懸命”であれば、必ず成長できる。“一生懸命”取り組んだ者でないと味わえないことがある。中学校3年間を充実させる。
感謝	自分を認め、他に感謝し、貢献することで、さらに成長できる。
健康	活動するための土台：栄養・睡眠・適度な運動・規則正しい生活 悩みを一人で抱え込まず誰かに相談しましょう。

継続

教職員の皆様へ…健康に留意し、明るく、働きやすい職場にする

働き方改革	時間外勤務の上限は年 360 時間（月平均 30 時間）です。まずは月 45 時間を超えないように、ゴール・期限を決め、効率化を図ってワークライフバランスを保ちましょう。 生徒指導の未然防止が、最大の業務改善。働きやすい職場を目指しましょう。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------